

教科	国語	単元名	モチモチの木
----	----	-----	--------

本時のねらい

・本文の叙述をもとに「モチモチの木」の特徴を読み取り、まとめることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・「モチモチの木」にどんな特徴があるのかを叙述をもとに考える場面で、デジタル教科書に線を入れたり、イメージマップを作成したりして考えを視覚化し、自分の言葉でまとめる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad ・ デジタル教科書 ・ オクリンク ・ AppleTV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを提示する。 【めあて「モチモチの木」のとくちょうをまとめよう】 授業の最後に「モチモチの木」がどんな木かを自分の言葉でまとめることを確認する。 ○デジタル教科書の範読を聞きながら、本文（デジタル教科書）中の「モチモチの木」の特徴だと思う部分に線を引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書を活用することで、線を引くかどうか迷う箇所に線を引いたり、消したりすることが容易にできる。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書のイメージマップを活用して、「モチモチの木」の特徴を書き込んでいく。 ○自分で作ったイメージマップを近くの子と共有する。 周りの子と共有することで、自分が見つけられなかった「モチモチの木」の特徴に気づく。 ○完成したイメージマップをオクリンクで提出する。 ○提出されたイメージマップをもとに「モチモチの木」の特徴を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクリーンショットをオクリンクで提出することによって、成果物を全体で共有する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返り 「モチモチの木」がどんな木か、自分の言葉でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス全員のイメージマップを共有することができるので、自分の言葉でまとめを書くのが苦手な子どもにとっても取り組みやすい。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：デジタル教科書でイメージマップを作成する様子



写真2：イメージマップを完成に近づけている様子



写真3：イメージマップを全体で共有している様子

児童生徒の反応や変容

・言語化する前にイメージマップを活用することで、視覚的に思考が整理され、まとめを書くことがスムーズになった。デジタル教科書上で何度も試行錯誤ができる点も、取り組みやすさにつながった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・思考ツール（イメージマップ等）の活用は国語科以外でも行っている。思考ツールはオクリンクのカードBOXに保存し、全学年で共有している。